

講義、実習の概要

講座名	第1種放射線取扱主任者講習
題目	表面汚染密度の測定
	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
所要時間	3.0時間
実施場所	RI製造棟
	<input type="checkbox"/> 講義室 <input type="checkbox"/> 非管理区域 <input checked="" type="checkbox"/> 第1種管理区域 <input type="checkbox"/> 第2種管理区域
本講義のねらい	第一種放射線取扱主任者講習において、表面汚染密度の測定及び評価方法等について実習をとおして習得する。
概要	放射線障害防止法では、放射性物質による汚染状況の測定が義務付けられている。この中には、表面汚染密度の測定も含まれていて、特に非密封状の放射性物質を取扱う際には放射線管理状況を判断する上では重要な測定項目となっている。このため、模擬汚染板を使用してGM計数管による直接サーベイ法、スミアろ紙によるふき取り検査法により、表面汚染密度の測定及び評価方法について実習をとおして習得する。また、表面汚染の種類、ふき取り効率、検出限界、放射線管理基準、表面密度限度、汚染の判定基準などの概念についても学習する。
キーワード	第一種放射線取扱主任者講習、表面汚染、身体汚染、直接サーベイ法、表面汚染探査計、計数効率特性、ふき取り検査法、スミアろ紙、表面密度限度、ふき取り効率、放射線管理基準、核種同定、搬出基準、判定基準
使用するRI、危険物、重量物等	密封RI (^{90}Sr ; 約50kBq、 ^{14}C 、 ^{204}Tl 、 ^{32}P 、 ^{147}Pm) 非密封RI (^{32}P ; 20kBq)